

令和元年度第4回掛川市総合計画審議会 議事概要

日 時	令和2年1月24日（金）10:00～12:00
会 場	掛川市役所5階 議会全員協議会室

■出席者（敬称略）

No	所属等	氏名	出席状況
1	掛川市社会福祉協議会	伊藤 敏子	欠席
2	株式会社静岡銀行掛川支店 支店長	木野 章博	欠席
3	株式会社大と小とレフ 取締役	鈴木 一郎太	欠席
4	掛川市社会教育委員会 委員長	鈴木 緑	出席
5	静岡県西部県民生活センター 次長	高橋 由利子	出席
6	国土交通省浜松河川国道事務所 所長	田中 里佳	欠席
7	掛川市地区まちづくり協議会連合会 会長	中村 隆哉	出席
8	NPO 法人掛川国際交流センター	樋代 典子	欠席
9	静岡大学 人文社会科学部長	日詰 一幸	出席
10	掛川みなみ商工会 副会長	平松 季哲	出席
11	一般社団法人中東遠タスクフォースセンター 理事長	星之内 進	出席
12	株式会社三菱総合研究所 主席研究員	村上 文洋	出席
13	東京女子医科大学看護学部 教授	守屋 治代	出席
14	株式会社山本製作所 専務取締役	山本 美鈴	出席

発言者	発言内容
1. 開会	
事務局	<p>本日は、ご多忙のところ、お集まりいただき誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から第4回掛川市総合計画審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日の予定ですが、最初に「第2次掛川市総合計画基本計画（案）」について、市長より審議会に対して諮問させていただきます。その後、議事に移っていただき、基本計画（案）についてご議論いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>概ね2時間を目安として会議を進めてまいりたいと思っております。</p> <p>申し遅れましたが、私は、司会進行役を努めます企画政策課地域創生戦略室の山田と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>なお、本日は名簿の1番の伊藤委員、2番木野委員、3番鈴木委員、6番田中委員、8番樋代委員から欠席のご連絡をいただいておりますので、ご承知お祈いします。</p>
2. 会長あいさつ	
会長	<p>改めまして、みなさんおはようございます。朝早い時間でございますけども、ご出席いただきありがとうございます。上半期が終わりましたら、雲が切れまして、青空も見えてきて、気分的にはだいぶ良い気分で来ました。今日は松井市長から、諮問を頂いて、質問を受ける形で、これからみなさんと答申に向けてですね、意見をつめさせていただければと思っております。</p> <p>前は色々な角度から、委員のみなさまからたくさんのご意見をいただくことができました。それは事務局もそうですね、まとめていただいております。今日はそのご意見、そういったものがどのような形で、これから対応していくのかということを中心に、ご検討頂ければと思っております。2時間という、大変短い時間ではございますけども、中身の濃い議論ができればと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p>
3. 市長あいさつ	
市長	<p>おはようございます。ご多用の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、委員の皆様には、総合計画の策定について、多くのご意見、ご提案をいただき、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>この第2次掛川市総合計画の改定は、令和の時代になり、人生100年時代、テクノロジーの急激な進化による Society5.0 の到来、さらには、SDGs の推進等、大きな時代の変革を迎え、そのような時代に対応する計画として改定を行ってきました。</p> <p>改定にあたり、有識者や職員、高校生等により20年後の掛川市を想像する「将来ビジョン検討会」を立ち上げ、今、あるものから想像できる未来図を、検討していただきました。</p> <p>また、公募で市民や高校生にも参加いただいた「市民委員会」では、掛川市で大切にしたいものを議論するなど、たくさんの方にご協力をいただき、掛川市に対する思いをとりまとめることができました。</p> <p>まさにこれが「協働のまちづくり」であり、SDGs で言えば、目標17の「パート</p>

発言者	発言内容
	<p>ナーシップで目標を達成しよう」であります。</p> <p>これからも計画のみならず、様々な施策において多様な方々に係わっていただけるような仕組みづくりをしていきたいと思えます。</p> <p>本日、総合計画審議会に第2次掛川市総合計画改定版を諮問させていただきますが、皆様のご経験や専門的な見地から、活発なご議論をご期待申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
4. 諮問	
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここで、議事に移る前に、市長から当審議会に対しまして、基本計画の策定について諮問させていただきます。</p> <p>恐れ入りますが、会長、市長、前方中央へ移動をお願いいたします。</p>
市長	第2次掛川市総合計画改定版案について諮問。
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより議事に移ります。この後の進行につきましては、条例の規定にもとづき、会長をお願いいたします。</p>
4. 議事	
会長	<p>本日、市長から第2次掛川市総合計画の基本計画の策定について諮問を受けましたので、委員の皆様のご十分なご審議をお願いいたします。</p> <p>それでは、時間も限られておりますので、早速議事に入ります。</p>
(1) 第2次掛川市総合計画改定案について	
会長	<p>議事会議に従いまして、進めさせていただきます。</p> <p>第2次掛川市総合計画改訂版（案）ということで、まずは内容につきまして、ご説明いただくということで、事務局の方からよろしくお願いいたします。</p>
事務局	第2次掛川市総合計画改訂版（案）について説明。
会長	<p>今回の改定案については、前回の審議会でもみなさまとご検討いただきまして、色々のご意見を頂いております。それについての反映事項というのが1-2は6件ご対応いただいております。本日は改定案にまとめていただき、市長から諮問を受けたという経緯がございます。</p> <p>本日は戦略目標、重点施策や個別施策の内容はどうか、といったところを再度点検していただき、答申に盛り込む内容をまとめてさせて頂ければと思います。</p> <p>そういった観点から、前回の計画審議会のご意見、20日に行われた全員協議会での議論と対応策、さらにパブリックコメントが1ヶ月程行われ、6人から26件の意見がありました。</p> <p>本日は委員のみなさまから、今の説明に基づき、内容についてご意見を頂きたいのと同時に、改定案全体の内容について再度点検をお願いします。</p> <p>ご質問並びにご意見をお願いします。</p>
委員	37頁の3 美しい自然環境とエネルギーの地産地消の指標は最新でよいか。
協働環境部長	算定には3年ほどかかります。現状での最新値が記載のものをご理解いただきたい。

発言者	発言内容
委員	<p>SDGs のアイコンを表記していることはいいことだと思います。</p> <p>2－⑦人権の尊重ゴール 16 を入れるべきだと思います。</p> <p>2－①子どもの人権という立場で関わるのではないかと。現状と課題の文章の中に、愛着関係の親子や、児童虐待が増加傾向にあるという分析がされており、対策をベースに子どもの人権をどう捉えるのかということが入るのではないかと。SDGs の考えから言えば、ゴール 16 が入れれば良いと思います。</p> <p>6－①多文化共生のまちづくり。ゴール 10 の不平等の是正が入っており、外国人の学習機会や国際社会で活躍できるグローバルな人材の育成が位置づけられているため、ゴール 4 の教育が入ってもよいのではないかと。</p> <p>4－③ゴール 3 に保健のアイコンが出ているが、位置づけがぼやけるのではないかと。障がい者への就労促進が施策に入っているために、福祉との関連で着目して出されたと思うが、4 は「産業経済分野の戦略」。ゴール 8 の「経済成長」の意味で「すべての人々の完全かつ、生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」という意味合いがある。ゴール 8 では「あらゆる人が希望に沿った働き方をする」意味合いで、充足されているのではないかと。</p> <p>マーク貼り付けの根拠について点検していただければと思います。</p>
事務局	再度確認をさせていただき訂正するべきところは訂正させていただきたいと思います。
委員	<p>63 頁の東京女子医科大学のところで正確な言葉の方がよいと、生涯健康総合支援センターが正式名称で決定するとよいと思います。</p> <p>指標の中で、5 つめの指標で 3 つの指標が出ているが、31.5%なので 45%だが、市民の半分も不便でないと思えているのでよいか。もう少しよくなるか。</p>
会長	生涯健康総合支援センターは大学の方でオフィシャルの形でなくてよいということでした。2 番目の最終目標についてはいかがでしょうか。
事務局	再度検討させていただきます。
委員	(4) の指標で有機栽培の茶園の面積について創業支援計画は 50 件ずつ行っていけば可能だと思うが、面積は予測が立てられるのか。
産業経済部長	<p>茶価の低迷がある。</p> <p>面的に進めていくことがどこまで波及するか予想できないところがあるが、この目標値に向けて、期待値も含めての数値ということで、ご理解いただきたいです。</p>
委員	若い人たちも魅力を持って取り組んでいただけるといいと思います。
委員	<p>人口減少問題について、22 頁に将来人口に記載があり、2025 年の目標出生率は 1.97。掛川市は 1.63。全国平均よりも 0.2 ポイント高いため、出生率は全国平均よりも優れているが、1.97 にあげるには努力が必要です。子ども関係の支援策は充実しており、子どもを育てる環境ができていることは他市に無い強みだと思います。ただし、出生率低下の原因は離婚率の上昇です。所得の低迷、結婚に縛られたくない、という中で、未婚率は劇的に下がりにません。結婚中の子どもの数は 2 人前後だが、3～4 人に上げるために、施策を強力に推進していく必要があります。</p>

発言者	発言内容
	<p>また、外国人の居住者も2019年～2025年の間に2,100人増加を目標としています。外国人の生活支援の中にも記載があり、語学・教育・サポートの問題に対し、力を入れていく必要があります。また、外国人が協働に参加していただくような仕組みを推進していかなければと思います。</p>
事務局	<p>人口増の施策は目標値の中で達成できるように進めていきます。また、外国人も一緒に自治活動をしていただけるように進めたいと思います。</p>
会長	<p>教育支援のことについてはどうでしょうか。特に小学校・中学校・高等学校に向けての就学支援、外国人に向けての教育的な支援についてはいかがでしょうか。</p>
教育長	<p>外国人の子どもが増えており、就学前の生活支援も含めて進めています。</p>
委員	<p>私どもの会社にも色々な国の方がいます。その方の子どもが学校からもらってくるプリントが読めなく、呼び出しや案内もわからないため、行く事ができない。さらに学校との溝が更に深まっているということもあると聞きます。</p> <p>子どもどおしのコミュニケーションも上手く伝わらず、勉強や気分も落ち込み、学校に行けなくなるということも出てきています。今後、令和7年までに外国人の方が増え、市民と信頼し助けあっていくということが、今の状態ではスムーズにいかないのではないかと思います。そのようなところも配慮をしていただきたいです。</p>
会長	<p>言語の問題はハードルが高いです。掛川市としても、多言語への取り組みはしていると思いますが、その点はいかがでしょう。</p>
教育長	<p>教育センターの外国人支援室で対応しています。外国人の方が増え、1番はブラジル、2番はフィリピン、中国、ベトナム。多言語に精通した方を探しており、配置し、学校にも派遣しています。また、支援員が配置できない場合は、翻訳アプリのようなソフトウェアを使っての対応も検討しています。</p>
委員	<p>多言語対応はシステム対応で、カバーできると思います。ただし、学校からの配布物が紙だと多言語対応が難しいです。そのため、デジタル化の推進が必要です。推進した場合、細かいニュアンスは通訳が必要だが、日常的なやり取りはスマートフォン等の翻訳機能が有効に使えます。しかし、主語と述語がわかりにくい場合があります。翻訳を意識した日本語の書き方を検討されると良いと感じます。また、災害対応も日常的な共助の中で必要です。</p>
副市長	<p>昨年の9月から広報かけがわは多言語対応で、紙で配っています。スマホ上で10言語によって、見る事ができるように対応しています。従来はポルトガル語の紙で配布していたが、ポルトガル語以外の方もいると思い、対応しています。ただ、月に1回のため、出来ているということもあります。</p> <p>今後、紙で出すものについてはQRコードをつけていくようにしたいです。また、県の防災アプリ等が4月から多言語対応するため、どんどん活用していきたい。優しい日本語についても、翻訳はわかりやすい日本語でないといけないと思います。</p>
委員	<p>千葉の台風があったとき、千葉市は「ヤフー防災」という民間のサービスを使い、市民に情報を提供しました。千葉市長は伝達する確率が高いとおっしゃっており、行政が自ら届ける努力をすることにより、民間に情報を届ける。オープンデータで出すと多言語化にも対応でき、観光客対応にも有効で、進めていただければと思</p>

発言者	発言内容
	ます。
会長	<p>優しい日本語は私も大事だと思っています。タイバーシティー関連の NPO 法人をやっている田村太郎さんが熱心に取り組んでいます。日本語を更に砕いて言うとうなるか研究している方です。通常よりもかみ砕いた日本語を使用することを共有されてくると、外国人とのコミュニケーションがもう少しうまくできるのではないかと思います。日本人の意識が変わってくると、良いのではないかと感じます。</p>
委員	<p>小学校、中学校では中電の絆ネットをやっており、言語の対応をしていただければ。</p>
委員	<p>133 頁で、個別計画の中にある報徳、協働、茶草場農法などのものの考え方について。有機農法の展開に沿って、精神的な支えになります。また、他市よりも優れた特徴で報徳精神がいき渡っています。地場産業界の協力を得る時に、アプローチ方法として、ものの考え方をつくりだしています。資源は必ずしもものやお金ではない。文化や伝統を使っていくことで、他市とは違った価値を創造していく、ということに記載すると、効果を生むかもしれません。古くさいと言われることもあります。伝統を生かしていくことも重要な資源で戦略と思います。</p>
市長	<p>自治基本条例の制定をするときに、そういったことを謳っています。総合計画を推進するにあたり、そういう理念が入っているという前提で進めています。改めてそのような表記があった方が、掛川らしい総合計画になるということであれば、検討してみたいと思います。</p> <p>掛川市による基本条例を制定したのは7～8年前で、中村会長が中心になって、連合をつくりましたので、その時の考え方は、今の話のようなことでした。掛川のまちづくりをつくるにあたっては、生涯学習、報徳、これらを前提として、まちづくりを進めていきたいと思います。改めて前文を入れます。また、若い経営者の方も報徳の考え方について共感している人も増えてきています。報徳は古いという人もいるかもしれないが、全国に発信するというまちでもあるので、検討して位置づけを明確にしていきたいです。答申の中で謳っていただければ、製本にする時にその考え方を入れておきたいです。</p> <p>私が市長になったときから、基本的に協働のまちづくりという言い方を進めてきましたが、報徳と生涯学習の度量があってこそ、共同の企業も行政も一体となってまちづくりを進めていきたいです。</p>
委員	<p>13 頁の「安全安心で気持ちよく生活できるまちづくり」の中で、防災を中心に表現されているが、コミュニティの充実という言葉があります。コミュニティという言葉遣いだけで表現されているので、防災のためではなく、コミュニティがあり、防災につながるの具体的な形があってもよいと思いました。</p> <p>46 頁。生涯学習という言葉を入れていただいていたのですが、進め方としては図書館のイメージが強いです。ただ、生涯というもう少し広く、公民館の表現が使われているが、南部はあっても旧掛川市内にはないです。表現を検討してもらいたいです。</p> <p>129 頁。3-④担い手づくりの推進は日本語としてどうでしょうか。育成など、違和感があるため、検討してもらいたいです。</p>

発言者	発言内容
会長	<p>13 頁。コミュニティの充実があつてこそ、災害にも強いチームが出来てくるのではないかということで、書き方が違うというご指摘。</p> <p>46 頁公民館についての記載。129 頁の担い手づくり推進ではなく育成ではないかというご指摘ですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>3 点につきまして、検討させていただきます。</p>
委員	<p>市民全員でまちづくりを進めていくのであれば、市民全員が取り組める発信の仕方が必要です。文言についても日常の言葉遣いを取り入れて、発信するべきです。</p> <p>報徳はこれからの経済人にとっては大切なことです。年配の方が幹部になっているため、続かないという危惧を持っています。</p> <p>若い経済人は京セラの稲盛塾長の「盛和塾」に入っている方が非常に多いです。新入社員の志を聞いても、利他のところが浸透し始めているのではないか。そういったことを取り入れていくことが大事だと感じます。</p>
市長	<p>行政として報徳発信はしているつもりです。来年、全国の報徳関係のサミットも掛川で行う予定です。私が話をする若い経営者の方は報徳の考えに基づいて経営しようとする人が少なからずいます。全体的に若い経営者や若い方達が、報徳の考え方に共感しているかということ、そうでもないと思います。ただ、他の地域に比べると報徳に基づいて、利他の心があつてこそ掛川市。ということで寄付をしてくれる市民が多いということもありますので、広めていかなければいけないという思いもあります。利他の心の啓発をしていかななくてはなりません。</p> <p>また、優しい言葉の概要版のようなものを発信していきたいです。行政はそれぞれの立場で考えて、将来を見据えて作っていき、発信していくことは課題です。途中経過の報告も必要でやらないといけないと思います。</p>
委員	<p>政府が働き改革を推進しています。文章を作る方は大変ですが。実践、実行をしていかなければ、市はよくなっていかない。実践実行の審議をしていくことが重要。もっと効率的にやっていないといけません。</p>
教育部長	<p>44～46 頁の生涯学習について、44～45 頁の 1－2 については図書館の事業について記述する場所であったため、生涯学習という言葉を取り入れているのでズレが出てきています。</p> <p>ここにどうやって書き込んでいくか事務局と調整していきます。</p>
委員	<p>41 頁の施策の方向の 1。子どもに身に着けさせる教育、ここが最終的な目標です。市民総ぐるみで取り組むとあるが、全体で取り組んでいただきたいです。掛川は地域の子育てが充実しています。市民全体で子どもたちを見守り、育成していく。小学校中学校に向けて、いい教育ができていくという地域と言うことが大事です。</p> <p>地域の方にも福祉教育をやってもらいたい。防災教育も地域の方が体験させてくださっています。地域の中で子どもたちを育てていくと言うことが大事です。</p> <p>外国人に対しても、温かい見守りが大事です。外国人担当教諭の加配もあるが、追いついていないです。地域で支えることが大事です。</p> <p>11 頁 1-④誰もがスポーツを楽しめる環境の整備。市陸が中止になってきてお</p>

発言者	発言内容
	<p>り、がっかりしている人もいます。放課後がなく練習時間もないため、持続もできなくなってきています。部活の支援がないがそういうところまで考えてもらいたいです。教育委員会のみでなく、市民総ぐるみで。教育日本一文化を考えていただきたいです。</p>
委員	<p>1-②。 前回リカレント教育に触れました。図書館が全面に出た記載になっており、既存のそういったもので進めていくとイメージを持ってしまうではないでしょうか。リカレント教育の担い手については記述してもらいたいです。掛川市を舞台として社会の還元が行われればよいと思います。 図書館以外の施策の方向として高等教育機関の連携をもう少し書いてもらいたいです。</p>
委員	<p>46 頁。リカレント教育の大学との連携について、63 頁の東京女子医科大学との連携で、専門職のリカレント教育を東京女子医科大学が実施しようとしています。健康教育という意味での教育もリカレント教育と重なりますので、一般市民的なリカレント教育を東京女子医科大学中で広げていけないかということ提唱しようと思っています。 吉岡彌生は偉人として教育委員会の管轄に入っているが、中で取り扱っている情報は全て健康に関することです。吉岡彌生記念館の情報が外に活かされていません。教育の文化遺産だが、健康教育として、どのようにつなげていけばよいのか。市民に有効に活用できていくのか。記念館の運営委員会の中でも、健康教育の管轄にするのか、少し棲み分けが必要です。 報徳思想については、次の世代にどのように継続していくかは、ひとつの経済理論として、アメリカから逆輸入で、再解釈や福祉でも見直しをしています。 吉岡彌生の理念である「至誠と愛」は医療倫理の原点でもあります。若い人にも受け入れられるような、報徳思想の出し方をしていく。掛川市の若者の誇りになる。若い研究者に報徳思想の理解をしてもらい、呼び込みできないだろうか。</p>
企画政策部長	<p>吉岡彌生記念館については、令和2年度以降に地域医療推進課に事務を移管していく予定です。 中学校の部活、陸上大会、地域の方とまちづくりを進めていくことが必要。不足している部分の書き方については事務局で検討していきます。 若い研究者に報徳思想を浸透させていくことについて、色々協議をさせていただき、検討していきたいと思えます。 図書館が前面に出ているご指摘について、言葉の置き換えだけではなく、1-②生涯学習の拠点作りについて、組み立て直しを検討していきたいです。 リカレント教育の関係で46頁63頁については再度考えたいと思えます。</p>
会長	<p>まだ色々な観点からのご意見がいただけると思えます。</p>
委員	<p>一般社団法人倫理研究所を掛川に作りたいと考えています。 わしやまさんと話し、倫理法人会で報徳思想をどんどん推進していきたいと考えています。AI、テクノロジーが進んでも動かすのは人です。人が報徳の考えを持</p>

発言者	発言内容
	って進めて動かしていく人が必要です。
会長	<p>掛川市の風土と言えば報徳、生涯学習センターというものが掛川の風格を作っていくのだろうと思います。報徳がベースになって総合計画が作られることが大事です。</p> <p>市民総ぐるみ、地域総ぐるみに対して、配慮した取り組みが大事だと思います。さらに、文言をわかりやすくし、かみ砕いた形で市民にお伝えしていくことを心がけて頂きたい。</p> <p>今後の実施組織の連携。大学連携や吉岡先生の記念館の話もありましたが、1つの単位で全て完結するわけではないため、関連する部署が連携して総合的な取組が必要になってくるので、計画書の中に盛り込んでもらいたいです。</p> <p>133 頁。総合連携が大事となってきます。まだ言いたくないことがございましたら、事務局の方にお寄せ頂ければと思います。</p>
会長	今後、細かな字句修正は会長一任ということで私と事務局に委ねていただきますようお願いします。
7. その他	
会長	その他、全体的なことについて何かご意見等はございますか。
委員	<p>131 頁 6 - ④</p> <p>行政サービスの見直し。高度成長期につくられた制度に基づくものが残っている。デジタル化に遅れないような取り組みをお願いしたい。</p> <p>IT 環境が遅れていることで新し人材が辞めないように。</p>
会長	私の大学でも、入ってくる新入生からデータサイエンスの必修というものがあありまして、4年後にはそのような人材が入ってきますので、よろしくをお願いします。
委員	41 頁の教育のところについて。4年間で、ギガスクールコースが始まります。総合計画に書く書かないは別として、教育現場が大きく変わると思いますので、そのあたりの対応もお願いします。
会長	IT や AI の急速な進展を視野に入れた形での総合計画をお願いしたいと思いますし、生産性の効率という意味でも、市の仕事だけではなく、掛川全体の生産性の効率に結び付くような、そういう取り組みを率先していくようなことも入っていくのかな、と思います。市長よりひとことお願いします。
市長	<p>最後の審議会で、色々なご意見を頂いて、早急にとりまとめをしていきます。2月4日に見通しをいただけるというのが、スケジュールの都合で、基本構想の部分を議会の議決が必要と条例で定めています。今日の議論をもう一度、議論する必要があるかと思いますが、意見を踏まえて検討します。</p> <p>これから掛川市の行政運営やまちづくり、市民との共同の意見をもらいながら成長していきたいと思います。</p>
8. 閉会	
事務局	(省略)